

## 曲目解説

### ♪ベーラ・バルトーク(セーケイ編): ルーマニア民俗舞曲

ハンガリーに生まれたバルトーク(1881-1945)は、作曲を行いながら民謡の採集・分析にも積極的に取り組み、自身の作曲語法に取り入れ独特の作風を創造しました。晩年は第二次大戦などの影響もありニューヨークに亡命し不遇のうちに没しましたが、現在では20世紀を代表する作曲家の一人として認知されています。ルーマニア民俗舞曲は1915年、彼が34歳の時にピアノ組曲として作曲されました。その名の通り彼が採集したルーマニア各地の民謡をモチーフに作られています。

### ♪モーリス・ラヴェル: ツィガース

近代フランスを代表する作曲家ラヴェル(1875-1937)による1924年の作品です。ツィガースとはロマ(ヨーロッパ各地を転々としながら生活している民族のこと)を意味するフランス語です。音楽はハンガリーの民族的な舞曲であるチャルダッシュの形式にのっとり、大きく分けて前半の遅い部分と後半の早い部分とで構成されています。ヴァイオリンの表現力を存分に生かした作品に仕上がっていて高度なテクニックが求められます。

## 出演者



©Yuji Hori

### 渡辺 玲子 (ヴァイオリン)

超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性と幅広いレパートリーで、世界のヴァイオリン界をリードする逸材。1984年ヴィオッティ、86年パガニーニ両国際コンクールで最高位を受賞。以来、ロンドン、ウィーン、ドレスデン、ワシントン、ロサンゼルス、サンクトペテルブルクなど世界のオーケストラと共演。

日本音楽財団より貸与された1736年製ガールネリ・デル・ジェスヴァイオリン「ムンツ」使用。

<http://www.reikowatanabe.com>

### 江口 玲 (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程及びプロフェッショナルスタディーを修了。欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍する他、数多くのヴァイオリニストと共演を重ねている。現在、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学ピアノ科准教授。ニューヨークと日本を行き来して演奏活動を行っている。

<http://www.akiraeguchi.com>



©Rikimaru Hotta

・・・ 以下、渡辺氏の使用楽器について・・・

ガールネリ・デル・ジェス 1736年製ヴァイオリン「ムンツ」  
アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・ガールネリ(ガールネリ・デル・ジェス)(1698~1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。日本音楽財団はこのガールネリ・デル・ジェス「ムンツ」の他、同じ1736年に製作されたストラディヴァリウス「ムンツ」を保有しており、二人の名工によるヴァイオリンの音色を聴き比べるコンサートを開催している。

青少年のためのレクチャーコンサート

# 名曲を聴こう

2017年

12月8日 金

北九州市立 響ホール

主催 日本音楽財団、北九州市、  
(公財)北九州市芸術文化振興財団

助成 日本財団

渡辺玲子(ヴァイオリン)

江口 玲(ピアノ)

プログラム構成 渡辺玲子

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION



## 曲 目

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (ウィルヘルミ編) : G線上のアリア

ニコロ・パガニーニ : モーゼ幻想曲

セザール・フランク : ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調

### 第1&2楽章

フリッツ・クライスラー : ウィーン奇想曲

フランツ・シューベルト : 即興曲変ト長調 Op.90-3 (ピアノ独奏)

ドミートリイ・ショスタコーヴィチ : ロマンズ (映画「馬あぶ」より)

ベーラ・バルトーク (セーケイ編) : ルーマニア民俗舞曲

モーリス・ラヴェル : ツィガース

## 曲目解説

### ♪ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (ウィルヘルミ編) : G線上のアリア

音楽の父として知られているバッハ (1685-1750) が1722年頃に作曲した「管弦楽組曲第3番 BWV1068」のなかの、弦楽合奏で演奏される第2曲「エー」は、彼が書いた旋律のなかでもっとも清らかで優美なものといわれています。後に19世紀ドイツの名ヴァイオリニスト、ウィルヘルミが、ヴァイオリンの一番低い弦であるG線だけで演奏できるように編曲したことによって、「G線上のアリア」として広まることになりました。

### ♪ニコロ・パガニーニ : モーゼ幻想曲

パガニーニ (1782-1840) はイタリアのロマン派作曲家。天才ヴァイオリニストとしても知られていて、「5歳から13歳まででヴァイオリンの技術を完璧に習得した」、「悪魔に魂を売り渡した」などという噂も流れるほどの腕前でした。ヨーロッパの諸都市を巡った際、その圧倒的な演奏は聴衆を驚かせたそうです。この曲は作曲家ロッシーニが作った「エジプトのモーゼ」というオペラからテーマ (主題) を借用し、変奏曲として書かれたもので、この曲も譜面にはG線のみで演奏するように指定がされています。

### ♪セザール・フランク : ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 第1&2楽章

ベルギーに生まれたフランク (1822-1890) は主にフランスで作曲家、オルガン奏者、ピアノ教師として活躍しました。このヴァイオリン・ソナタは、1886年、彼が64歳の時の作品で、同郷のヴァイオリニストで作曲家のウジェーヌ・イザイの結婚のお祝いとして捧げられました。数多くあるヴァイオリン・ソナタの中でも最高傑作に推す声が多い作品で、ヴァイオリン、ピアノが対等に扱われています。4つある楽章のうち本日は第1・2楽章を演奏します。

### ♪フリッツ・クライスラー : ウィーン奇想曲

クライスラー (1875-1962) はウィーン生まれのユダヤ人で、20世紀前半を代表するヴァイオリニスト、そして作曲家としても活躍しました。彼の小品はヴァイオリン・リサイタルのプログラムとして演奏される機会が非常に多く、この曲もそのうちの1つとして広く知られています。奇想曲とは、イタリア語でカプリッチョと言われ、形式にとらわれない自由な性格を意味して付けられます。ウィーン風の旋律やウィнна・ワルツの要素が盛り込まれ、クライスラーの生まれ故郷への郷愁が込められているかのような曲想に仕上がっています。

### ♪フランツ・シューベルト : 即興曲変ト長調 Op.90-3

オーストリアの作曲家シューベルト (1797-1828) は僅か31歳で亡くなるまでに約700もの歌曲を残したことから歌曲王と称されていますが、ピアノ作品にも優れた作品が多く残されています。即興曲とは自由な形式で書かれた小品のことです。この曲はシューベルトが亡くなる前年、1827年の作品で、本日は全4曲の中から3つ目の即興曲を演奏します。

### ♪ドミートリイ・ショスタコーヴィチ : ロマンズ (映画「馬あぶ」より)

ショスタコーヴィチ (1906-1975) は旧ソビエト連邦 (現在のロシア) の作曲家で、15も残されている交響曲が特に有名です。このロマンスは、ロシア映画「馬あぶ」のために作られた音楽の中の曲です。単体で演奏されるケースも多く、その美しいメロディーのため、フィギュアスケートの音楽として用いられることもあります。